



訪問介護事業の現状と課題

全国ホームヘルパー協議会会長

熊本県ホームヘルパー協議会会長

熊本市社会福祉事業団中央ヘルパー事業所所長

田尻 亨

社会福祉法人 熊本市社会福祉事業団



1982年に設立され、高齢者福祉サービス、障がい福祉サービス
熊本市からの受託等、法人本部を含んだ32事業を運営し
約520名の職員を抱える熊本市では比較的大きな社会福祉法人です。

訪問介護事業所 市内3ヵ所

中央ヘルパー事業所

利用者数420名（うち総合事業150名、障がい70名）

サービス提供責任者12名

総合事業責任者2名（兼務）

常勤ヘルパー4名

パートヘルパー52名 事務員1名



全体的な推移

介護サービス介護施設・事業所調査及び介護給付費実態調査より

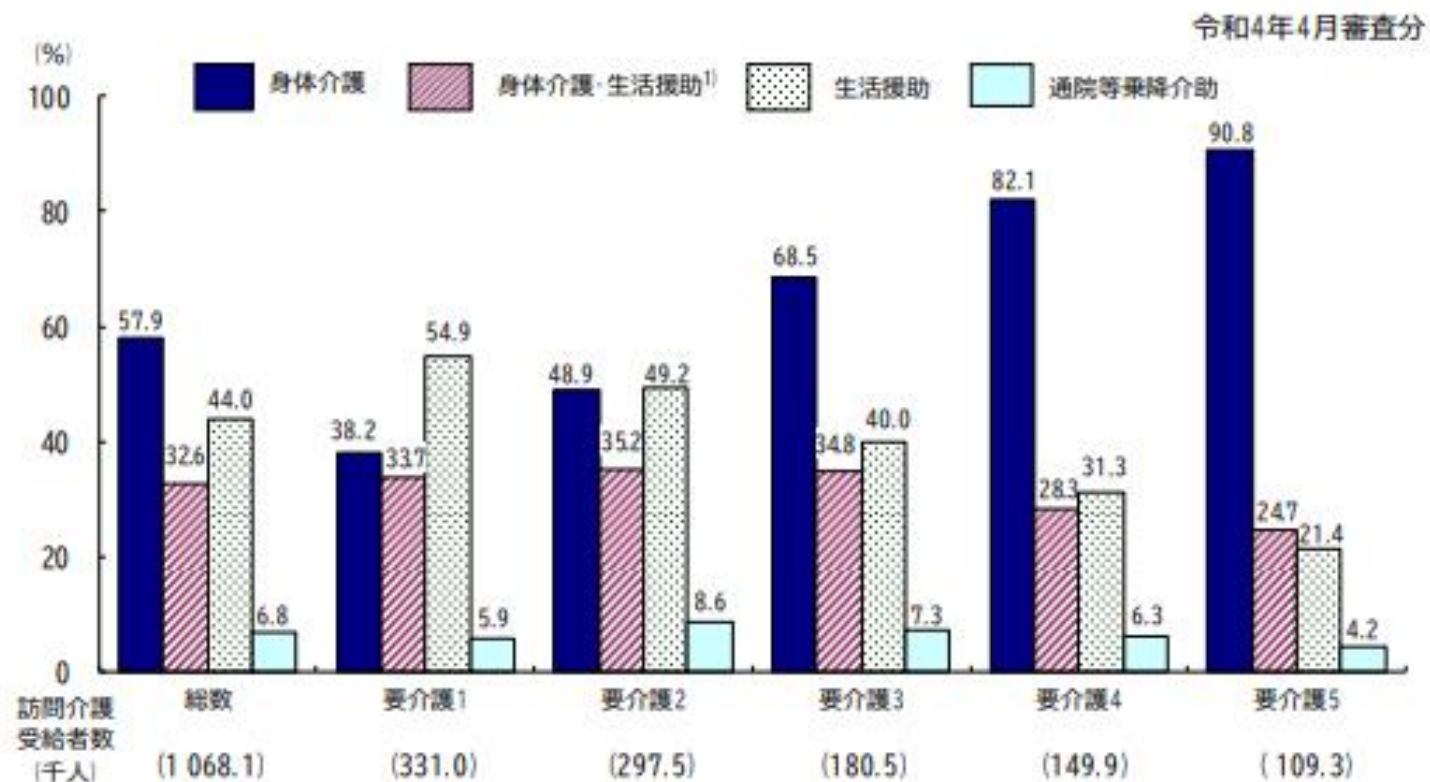
	平成30年	令和元年	令和2年
訪問介護事業所数	35,111	34,825	35,075
訪問介護員数(人)	521,855	508,256	501,666
熊本県での事業所数	619	621	626
社会福祉法人 全体からの割合	16.8%	16.8%	15.7%
営利団体	67.6%	67.6%	69.8%
利用者1人あたり 9月中の利用回数	19.0	18.7	20.1
訪問介護利用者数	100万7千人	101万人	101万6千人

3 居宅サービスの状況

(1) 訪問介護

令和4年4月審査分の訪問介護受給者について要介護状態区別に訪問介護内容類型別の利用割合をみると、要介護1では「生活援助」54.9%、要介護5では「身体介護」90.8%となっており、要介護状態区分が高くなるに従って「身体介護」の利用割合が多くなり、「生活援助」の利用割合は少なくなっている（図4）。

図4 要介護状態区別にみた訪問介護内容類型別受給者数の利用割合



注：訪問介護内容類型別受給者数の利用割合(%) = 内容類型別の受給者数 / 訪問介護受給者数 × 100

1) 「身体介護・生活援助」とは、身体介護に引き続き生活援助を行った場合をいう。

介護職員の現状

- 介護職員の就業形態は、非正規職員に大きく依存している。
- 介護職員の年齢構成は、介護職員（施設等）については30～49歳、訪問介護員については40～59歳が主流となっている。訪問介護員においては、60歳以上が4割近くを占めている。
- 男女別に見ると、介護職員（施設等）、訪問介護員いずれも女性の比率が高く、男性については40歳未満が主流であるが、女性については40歳以上の割合がいずれの職種も過半数を占めている。

1 就業形態

	正規職員	非正規職員	うち常勤労働者	
			うち常勤労働者	うち短時間労働者
介護職員（施設等）	61.0%	39.0%	15.4%	23.6%
訪問介護員	30.3%	69.7%	12.3%	57.3%

注) 介護職員（施設等）：訪問介護以外の指定事業所で働く者。訪問介護員：訪問介護事業所で働く者。

【出典】平成29年度介護労働実態調査（（財）介護労働安定センター）結果より、社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室において集計

2 年齢構成（性別・職種別）

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
介護職員（施設等）	0.7%	15.0%	22.9%	24.1%	19.9%	7.9%	5.6%	2.5%
男性（24.0%）	0.8%	22.9%	33.4%	21.4%	10.6%	4.3%	3.6%	1.7%
女性（73.3%）	0.7%	12.4%	19.4%	25.1%	23.0%	9.0%	6.2%	2.7%
訪問介護員	0.2%	4.0%	10.1%	19.6%	25.3%	14.7%	15.0%	8.7%
男性（9.5%）	0.2%	14.1%	19.8%	20.4%	19.5%	9.0%	8.8%	6.4%
女性（87.8%）	0.2%	2.9%	9.2%	19.6%	26.0%	15.2%	15.6%	9.0%

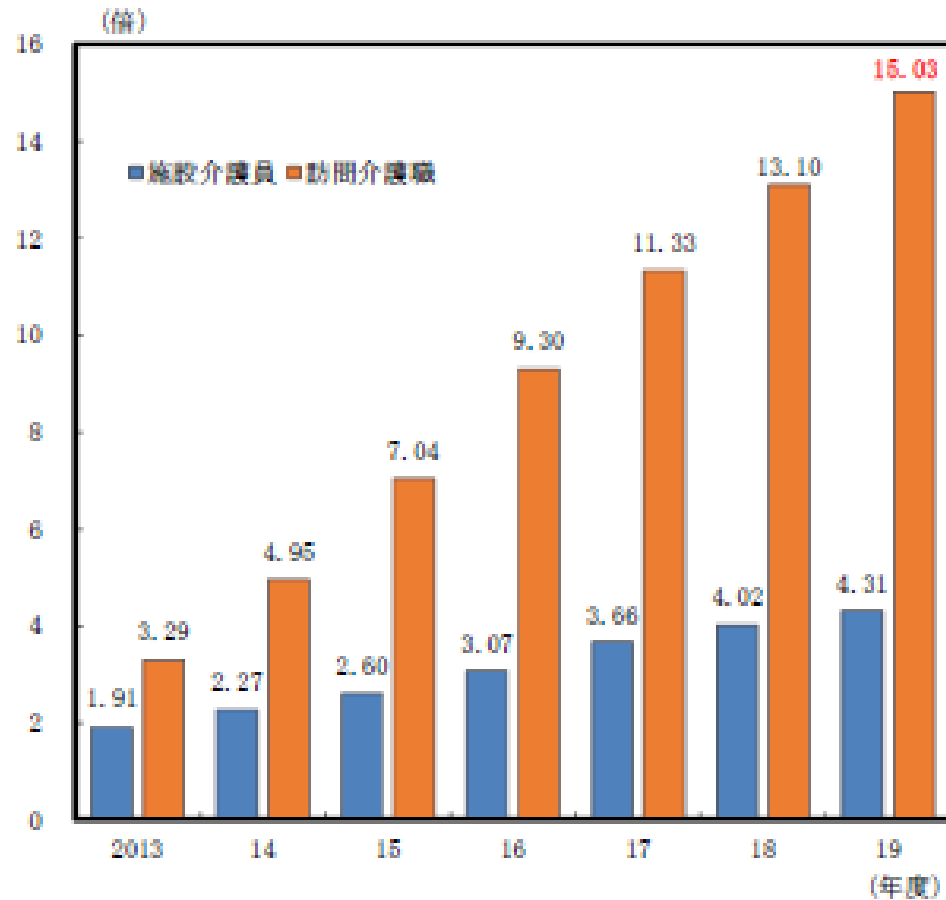
注) 調査において無回答のものがあるため、合計しても100%とはならない。

【出典】平成29年度介護労働実態調査（（財）介護労働安定センター）結果より、社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室において集計。

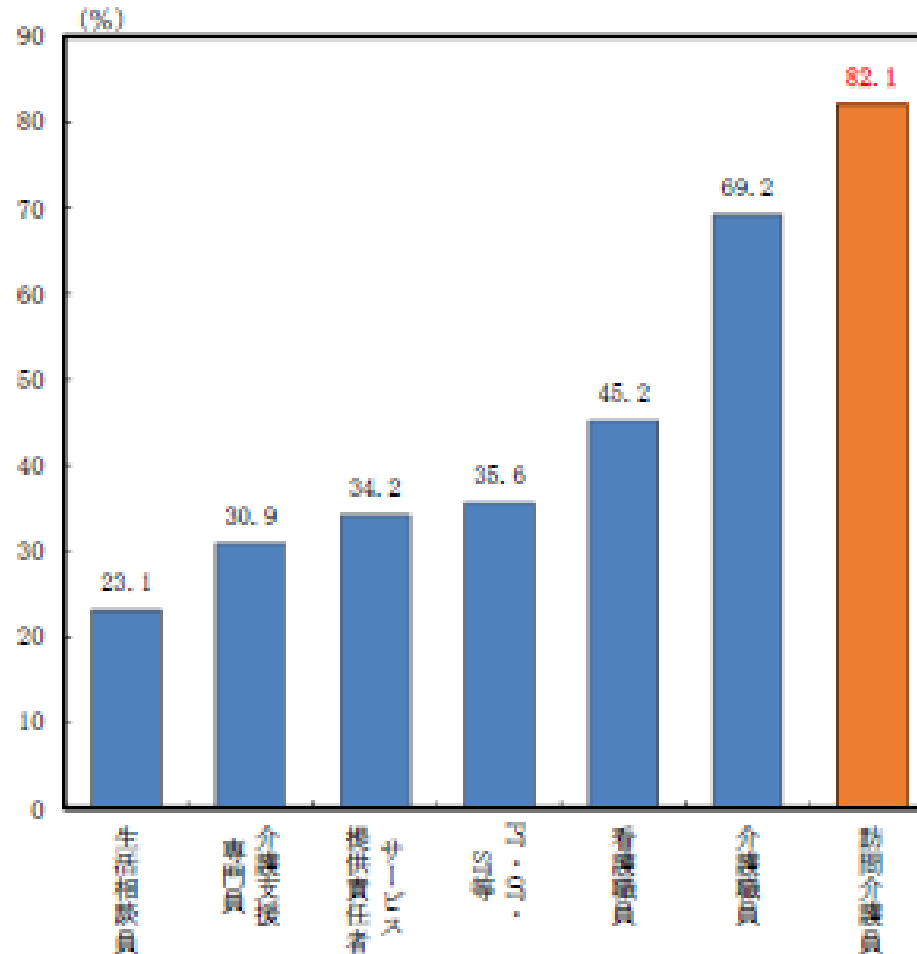
訪問介護員の人手不足の現状

- 介護サービス職員の有効求人倍率をみると、施設介護職員と比較して、訪問介護員の有効求人倍率が高くなっており、2019年度時点で15.03倍となっている。
- 職種別の介護労働者の人手不足感をみると、約8割の事業所が、訪問介護員の不足を感じている。

(1) 介護サービス職員の有効求人倍率



(2) 介護労働者の職種別の人手不足感
(人手が不足している事業所の割合)

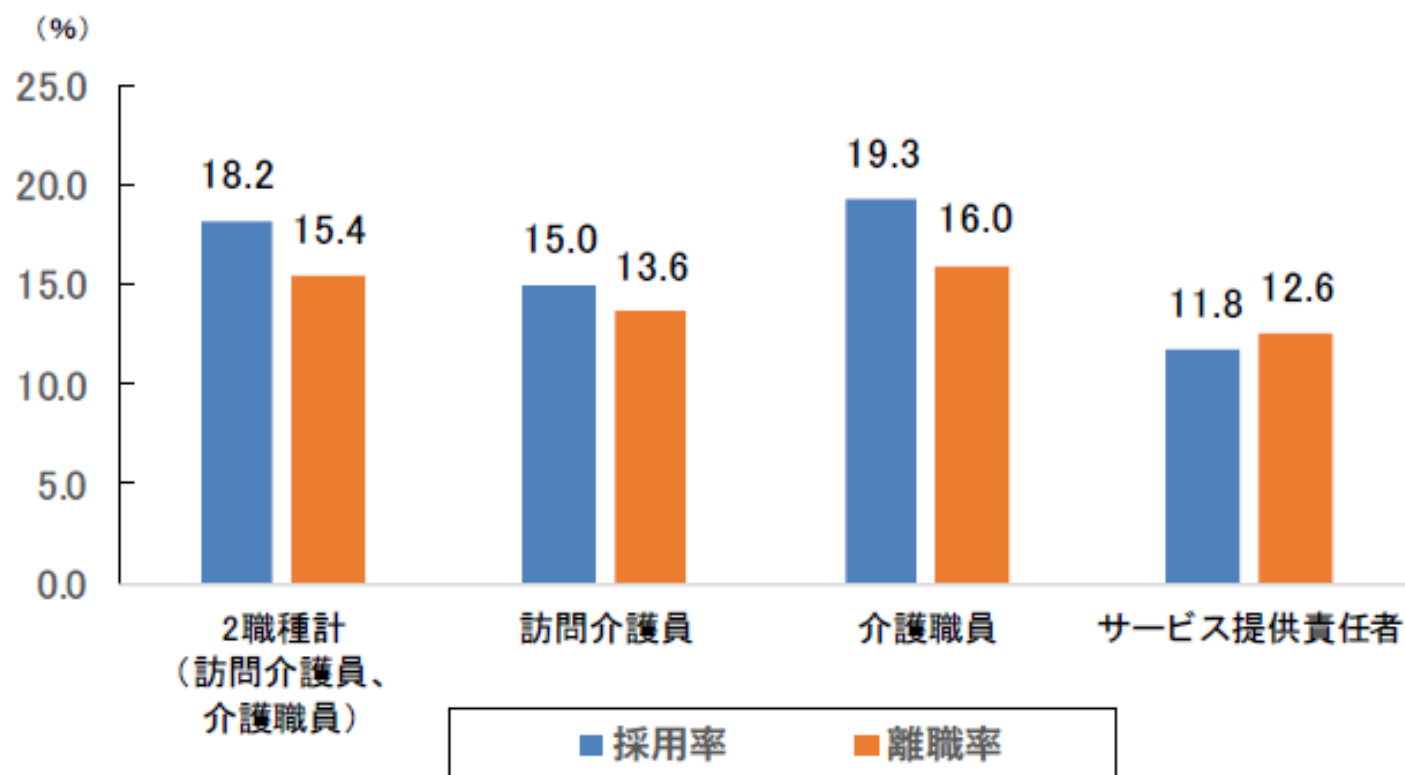


(備考) 1. (1) は、厚生労働省「職業安定業務統計」により作成。パートタイムを含む常用の値。平成23年改定「厚生労働省編職業分類」に基づく、以下の職業分類区分の合計。
施設介護員：「361 施設介護員」、訪問介護員：「362 訪問介護員」。
2. (2) は、(公財)介護労働安定センター「平成30年度 介護労働実態調査」により作成。

また、本年度調査では、サービス提供責任者の調査も実施し、採用率は 11.8%、離職率は 12.6%と、離職率は訪問介護員、介護職員と比べ低いものの、採用率が離職率を下回る状況であった。(図 3)

サービス提供責任者の入職経路の一つとして、訪問介護員からの内部登用があることから、外部からの採用は 2 職種と比較して低くなることもうかがえる。

(図 3) 採用率と離職率 (職種別)



訪問介護における自立支援・重度化防止に資するサービスの推進・評価(平成30年度介護報酬改定)

①身体介護・生活援助の報酬にメリハリ

	現行		改定後
身体介護中心型			
20分未満	165単位	⇒	165単位
20分以上30分未満	245単位	⇒	248単位
30分以上1時間未満	388単位	⇒	394単位
1時間以上1時間30分未満	564単位	⇒	575単位
以降30分を増すごとに算定	80単位	⇒	83単位
生活援助加算	67単位	⇒	66単位
生活援助中心型			
20分以上45分未満	183単位	⇒	181単位
45分以上	225単位	⇒	223単位

②生活機能向上連携加算の見直し

- 生活機能向上連携加算(I) 100単位/月(新設:理学療法士等の自宅訪問は不要)
- 生活機能向上連携加算(II) 200単位/月(現行の生活機能向上連携加算(100単位)の充実)
 - 連携対象として、リハビリテーションを実施している医療提供施設(原則として許可病床数200床未満のものに限る。)の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医師を追加
 - (I)は以下の取組を定期的(原則3月毎)に行うことを評価(初回月のみ算定)
 - ・ 理学療法士等(範囲は(II)と同じ)からの助言を受けた上で、サービス提供責任者が生活機能の向上を目的とした訪問介護計画を作成(変更)すること
 - ・ なお、当該理学療法士等は、通所リハビリテーション等のサービス提供の場において、又はICTを活用した動画等により、利用者の状態を把握した上で、助言を行うこと

③「自立生活支援のための見守りの援助」の明確化

- ⇒ 訪問介護の自立支援の機能を高める観点から、身体介護と生活援助の内容を規定している通知(老計第10号(訪問介護におけるサービス行為ごとの区分等について))について、身体介護として行われる「自立生活支援のための見守りの援助」を明確化する。

④訪問回数が多い利用者への対応(H30.10施行)

- ⇒ 利用者の自立支援・重度化防止や地域資源の有効活用等の観点から、ケアマネジャーが、統計的に見て通常のケアプランよりかけ離れた回数の訪問介護(生活援助中心型)を位置付ける場合には、市町村にケアプランを届け出ることとする。
- ⇒ 地域ケア会議の機能として、届け出られたケアプランの検証を位置付け、市町村は地域ケア会議の開催等により、届け出られたケアプランの検証を行うこととする。また市町村は、必要に応じ、ケアマネジャーに対し、利用者の自立支援・重度化防止や地域資源の有効活用等の観点から、サービス内容の再検討を促す。

自立支援・重度化防止に資する訪問介護を推進・評価

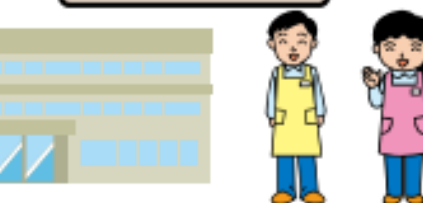
自宅・介護現場

(利用者・ヘルパー)



自立支援・
重度化防止
に資する
訪問介護

訪問介護事業所



(管理者・サ責・ヘルパー)

訪問リハ・通所リハ事業所・
リハを実施する医療提供施設



(PT・OT・ST・Dr)

連携
(必要に応じて)

令和元年10月 消費増税による報酬改定

身体介護	20分未満	165→166
	20分以上30分未満	248→249
	30分以上1時間未満	394→395
	1時間以上	577 (30分増すごとに83)
<hr/>		
生活援助中心型	45分未満	181→182
	45分以上	223→224

次ページ 令和3年4月 報酬改定

2.(2)⑦ 訪問介護における看取り期の対応の評価

概要

【訪問介護】

- 看取り期における対応の充実と適切な評価を図る観点から、看取り期には頻回の訪問介護が必要とされるとともに、柔軟な対応が求められることを踏まえ、看取り期の利用者に訪問介護を提供する場合に、訪問介護に係る2時間ルール運用を弾力化し、2時間未満の間隔で訪問介護が行われた場合に、所要時間を合算せずにそれぞれの所定単位数の算定を可能とする。【通知改正】

単位数

- 所要時間を合算せずにそれぞれの所定単位数の算定を可能とする。

<単位数>

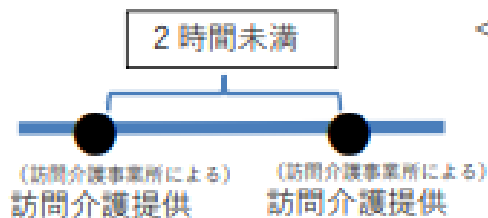
身体介護中心型	20分未満	167単位
	20分以上30分未満	250単位
	30分以上1時間未満	396単位
	1時間以上1時間30分未満	579単位
生活援助中心型	+以降30分を増すごとに	84単位
	20分以上45分未満	183単位
	45分以上	225単位

※単位数はすべて1回あたり。
※今回改定後の単位数

算定要件等

※追加する利用者は下線部

- 訪問介護は在宅の要介護者の生活パターンに合わせて提供されるべきであることから、単に1回の長時間の訪問介護を複数回に区分して行うことは適切ではない。したがって、前回提供した指定訪問介護からおおむね2時間未満の間隔で指定訪問介護が行われた場合には、それぞれの所要時間を合算するものとする（緊急時訪問介護加算を算定する場合又は医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者に訪問介護を提供する場合を除く。）。



<現行の取扱い>

それぞれの所要時間を合算して報酬を算定

例：それぞれ身体介護を25分提供

→合算して50分提供したものと
して報酬を算定するため、30分以上1時間未満の396単位を算定

<改定後>

所要時間を合算せずにそれぞれの所定単位数を算定

例：それぞれ身体介護を25分提供

→合算せずにそれぞれ25分提供したものと
して報酬を算定するため、250単位×2回=500単位を算定

訪問介護サービスの提供状況

・ **2021年10月における、事業所の実利用者数**についてみると、

まず、総合事業（要支援1と要支援2）の実利用者数は「1～20人」が**52.7%**と最も高く、以下、「21～40人」（**13.0%**）と続いており、平均は**13.1人**であった。

次に、軽度（要介護1と要介護2）の実利用者数は「1～20人」が**55.2%**と最も高く、以下、「21～ 40人」（**24.4%**）であった。なお、平均は**21.6人**であった。

さらに、重度（要介護3～5）の実利用者数は「1～20人」が**69.8%**と最も高く、以下、「21～40人」（**11.8%**）となっており、平均は**14.9人**であった。

・ **自事業所にて喀痰吸引の業務を行っているかどうか**についてたずねたところ、

「行っている」が **2.7%**

「事例は少ないが、行っている」が **10.7%**

「行っていない」が **86.7%**であった。

訪問介護事業の実態 まとめ

- ・ 事業所数 微増 併設事業所が増加
- ・ ヘルパー 高齢化 非常勤が多く、出来高払いによる影響か若手の参入が少ない
テクノロジーやICT化が遅れている要因
質の向上にも影響、お世話型サービスの温床
- ・ 利用者 要介護1、2が全体の**60%**
ターミナルケアの依頼も少なくはないが、対応できるヘルパーが少ない
- ・ サービス提供責任者へ業務が集中
サービス提供責任者の業務に対する評価を求める声が多い

訪問介護事業の課題

①ヘルパーの高齢化

持続安定できる年齢構成が不十分

テクノロジーの活用が不十分

②算定構造

出来高払い

入退院時が課題

サービス提供体制加算が区分支給限度額内による影響

③働きやすい職場づくり

ハラスメントなどへの対応、利用者への理解促進（訪問介護の手引き）

魅力発信（報道に対する注文）

参考資料

- ・厚生労働省 介護サービス介護施設・事業所調査及び介護給付費実態調査
 - ・厚生労働省 介護給付費実態調査
 - ・介護労働安定センター 平成**29**年度 介護労働実態調査
 - ・社会保障審議会 介護給付費分科会 平成**29**年度資料
 - ・社会保障審議会 会議給付費分科会 令和**2**年度資料
-

- ・熊本県、熊本県介護福祉士会 **KAiGO PRiDE** プロジェクト

上記より資料の転載、転記を行いました。

ご清聴ありがとうございました。

KAiGO PRiDE

介護の仕事はカッコいい。
介護を必要とする人々が心地よく暮らすため、何ができるのか。
誰よりもパワフル。誰よりもクリエイティブ。
誰よりも理解してくれて、誰よりも寄り添ってくれる。
誰よりも強い心を持ち、誰よりも優しい心を持つ人々。
消えることなく胸に灯る、介護職という名のプライド。
190万人しかいない、日本が求めるプロフェッショナル。
だから、介護の仕事はカッコいい。

Self-respect が社会からのRespectを作る



介護の現場を支える皆さんに
心からの尊敬を
困難な時にも日常を護る皆さんに
心からの「ありがとう」を

KAiGO
PRiDE